

賣 船 手 當

船主	船名	月日	解 決 條 項
菅谷汽船	潮州丸	六月十五日	死亡者、負傷者を除き全員に對し所持品償 hands 三ヶ月分、失業手當二ヶ月分、旅費各十五圓
山本汽船	元山丸	六月十六日	六月十八日迄の給料、旅費各十八圓、流失品手當三ヶ月分、失業手當は協同會規定により向ふ一ヶ月分を支給、猶運航開始の場合乗船優先權を與ふ、外に大工道具手當として百二十圓を給與
扶桑商會	孟買丸	七月二日	海事協同會規定に準じ各二ヶ月分と旅費十五圓
三寶汽船	久瀨加多丸	七月廿五日	協同會規定に準じ旅費十二圓、解散日迄の給料危険手當(月給の二割)支給
山本商事	春華丸	七月廿六日	協同會規定に準ず
甲斐線汽船	平和丸	七月廿八日	失業手當二ヶ月分、見舞金一ヶ月分、旅費各十二圓
武庫汽船	第十一御影丸	八月十四日	遭難手當三ヶ月分と旅費各三十圓
岡崎汽船	日福丸	八月廿二日	協同會規定に準じ、旅費十五圓、負傷者は入院及歸國を本人の選定に任(死亡者については後日解決)
直江津商船	久美愛丸	九月廿三日	海事協同會規定通り支給
松岡汽船	美保丸	十一月四日	遭難手當は海事協同會規定通り支給、旅費二十圓、外に見舞金として一人當り七圓支給
栗林商船	雲海丸	十二月三日	海事協同會規定通り支給、十一月分の給料全額、旅費各十圓外に金一封各自十圓支給、更に動機三ヶ年以上の者に特別手當月給一ヶ月支給、尙全員に對して酒肴料金一封五十圓支給、又見習に對しては別に手當金三十圓支給
東京灣汽船	柳丸	十二月十五日	海事協同會規定通り支給
澤山汽船	小菊丸	十二月十五日	失業手當給料二ヶ月分、旅費十圓見舞金十圓支給
山科汽船	五福丸	二月廿八日	海事協同會規定に準じ、尙永年勤続者には半月分乃至一ヶ月分給料支給
日本汽船	陽光丸	四月十八日	五名を残留せしめ、下船者には一年迄一ヶ月分、以上一年を増す毎に四分の一増加、外に特別慰勞金各半ヶ月、旅費十五圓
靑島商船	公福丸	四月二十日	乗組員は全部繼續乗船する事として本給の各一ヶ月分支給
新潟汽船	順丸	四月三十日	乗組員は全部繼續乗船せしむる事として各本給の一ヶ月分を支給
靑島商船	第二神州丸	六月廿八日	全員其儘乗船、手當各一ヶ月分支給
町田汽船	喜代丸	九月十五日	豫備員として四ヶ月間日給の半額支給、他船へ行く場合は夫れに相當する金額を支給、神戸歸港迄の月給全部、神戸より租入地迄の旅費支給
靑島商船	神崎丸	九月廿一日	一年迄は一ヶ月四分の一、以上一年を増す毎に四分の一ヶ月分増、旅費十三圓、外に金一封として各五圓支給
攝陽商船	龍田丸	十月二十日	十月廿四日解散、十月分の給料及今期ボーナス全額支給、全員に給料の二ヶ月分と五圓支給
内田汽船	大園丸	十一月九日	全員をそのまゝ引續ぐこととして、三ヶ年迄一ヶ月分、水夫夫長一ヶ月三分の二、貽長二ヶ月三分の一、他の四五五年の勤続者には金一封を支給
上野汽船	隆光丸	十二月廿七日	失業手當として一ヶ月と五日分、一年を増す毎に四分の一増加但大連迄廻航し大阪歸港迄の給料支給
佐藤商店	第九萬榮丸	十二月七日	島谷汽船に賣船となり乗組員は其まゝ引き續ぐ事、手當として各自給料の一ヶ月分及不拂給料全額支給
伊藤留三郎	東海丸	十二月九日	給料一ヶ月分、酒肴料をもて百五十圓とも百圓支給
加納汽船	順丸	一月十日	給料一ヶ月分支給
千代田汽船	富士丸	三月十五日	一ヶ年まで一ヶ月半、以上一年を増す毎に四分の一ヶ月増、旅費十五圓
北日本汽船	榮福丸	三月十八日	解散手當一ヶ月分、失業手當半ヶ月分、別に金一封

船主	船名	月日	解 決 條 項
菅谷汽船	潮州丸	六月十五日	死亡者、負傷者を除き全員に對し所持品償 hands 三ヶ月分、失業手當二ヶ月分、旅費各十五圓
山本汽船	元山丸	六月十六日	六月十八日迄の給料、旅費各十八圓、流失品手當三ヶ月分、失業手當は協同會規定により向ふ一ヶ月分を支給、猶運航開始の場合乗船優先權を與ふ、外に大工道具手當として百二十圓を給與
扶桑商會	孟買丸	七月二日	海事協同會規定に準じ各二ヶ月分と旅費十五圓
三寶汽船	久瀨加多丸	七月廿五日	協同會規定に準じ旅費十二圓、解散日迄の給料危険手當(月給の二割)支給
山本商事	春華丸	七月廿六日	協同會規定に準ず
甲斐線汽船	平和丸	七月廿八日	失業手當二ヶ月分、見舞金一ヶ月分、旅費各十二圓
武庫汽船	第十一御影丸	八月十四日	遭難手當三ヶ月分と旅費各三十圓
岡崎汽船	日福丸	八月廿二日	協同會規定に準じ、旅費十五圓、負傷者は入院及歸國を本人の選定に任(死亡者については後日解決)
直江津商船	久美愛丸	九月廿三日	海事協同會規定通り支給
松岡汽船	美保丸	十一月四日	遭難手當は海事協同會規定通り支給、旅費二十圓、外に見舞金として一人當り七圓支給
栗林商船	雲海丸	十二月三日	海事協同會規定通り支給、十一月分の給料全額、旅費各十圓外に金一封各自十圓支給、更に動機三ヶ年以上の者に特別手當月給一ヶ月支給、尙全員に對して酒肴料金一封五十圓支給、又見習に對しては別に手當金三十圓支給
東京灣汽船	柳丸	十二月十五日	海事協同會規定通り支給
澤山汽船	小菊丸	十二月十五日	失業手當給料二ヶ月分、旅費十圓見舞金十圓支給
山科汽船	五福丸	二月廿八日	海事協同會規定に準じ、尙永年勤続者には半月分乃至一ヶ月分給料支給